

日程	時間	テーマ	講師	生涯学習プログラム		開催場所	参加者数	担当
				新プロ単位	専門領域			
5月27日	9:00~12:00	脳卒中後運動障害に対する電気刺激療法	生野公貴先生 (西大和リハビリテーション病院)	C-4	物理療法	京都大学医学部人間健康科学科	63名	生涯学習部
	13:30~16:30	ニューロリハビリテーションの目指す方向性	森岡周先生 (畿央大学)	C-1	基礎・神経系		98名	
6月3日 (新人必須 初期研修)	10:00~11:00	理学療法と倫理	池添冬芽先生 (京都大学大学院医学系研究科)	A-1	—	京都教育文化センター	270名	新人教育部
	11:00~12:00	協会組織と生涯学習システム	市橋則明先生 (京都大学大学院医学系研究科)	A-2	—		270名	
	13:00~14:00	理学療法における関連法規	田後裕之先生 (京都岡本記念病院)	A-5	—		270名	
	14:10~15:10	人間関係及び接遇	宍場勝之先生 (京都博愛会病院)	A-4	—		272名	
	15:20~16:20	リスクマネージメント	山中寛恵先生 (滋賀県立総合病院)	A-3	—		273名	
6月24日	13:30~16:30	脳卒中治療における過去、現在、未来～理学療法士としてやるべきこと～	大垣昌之先生 (愛仁会リハビリテーション病院)	C-3	神経・生活支援	宮津市福祉教育総合プラザ	56名	北部研修部
7月1日	13:00~14:30	研究方法論(EBPT含む)～疫学を用いたエビデンスの作り方～	川村孝先生 (京都大学大学院医学系研究科)	D-3	—	京都大学医学部人間健康科学科	206名	新人発表部
7月1日	15:00~16:00	クリニカルリーズニング	建内宏重先生 (京都大学大学院医学系研究科)	B-2	—		212名	新人教育部
	16:20~17:20	生涯学習と理学療法の専門性	宮坂淳介先生 (京都大学医学部附属病院)	D-2	—		203名	
	17:40~19:10	QOLの軸をなすコミュニケーション支援～神経筋難病など重度障がい者のコミュニケーション支援の実際～	小林貴代先生 (森ノ宮医療大学)	C-5	—		184名	
7月28日	13:00~18:40	運動学に基づいた運動療法の理論と実際	市橋則明先生、建内宏重先生 (京都大学大学院医学系研究科)	C-2	—	京都大学医学部人間健康科学科	42名	新人教育部
7月29日	9:00~17:10							
8月26日	9:40~10:40	一次救命措置と基本処置	南角学先生 (京都大学医学部附属病院)	B-1	—	京都大学医学部人間健康科学科	187名	新人教育部
	11:00~12:00	症例報告・発表の仕方	石井光昭先生 (佛教大学)	B-4	—		157名	
	13:00~14:00	臨床実習指導方法論	中本隆幸先生 (京都きづ川病院)	E-1	—		202名	
	14:20~15:50	高齢者に対する筋特性・運動機能の評価とトレーニング	池添冬芽先生 (京都大学大学院医学系研究科)	C-4	—		196名	
9月23日	10:00~11:30	統計方法論～臨床判断に役立つ指標の提案～	天野徹哉先生 (常葉大学保健医療学部)	B-3	—	京都大学医学部人間健康科学科	46名	新人発表部
	13:00~17:30	新人症例発表会		C-6	—		63名(演題)	
10月5日	18:20~19:20	クリニカルリーズニング	堀口遥先生 (舞鶴赤十字病院)	B-2	—	舞鶴赤十字病院	21名	北部研修部
	19:30~20:30	生涯学習と理学療法の専門領域	梅田匡純先生 (京丹後市立弥栄病院)	D-2	—		29名	
10月11日	19:00~20:00	社会の中の理学療法	小寺翔馬先生 (蘇生会総合病院)	D-1	—	京都大学医学部人間健康科学科	89名	新人教育部
	20:15~21:15	コーチングとティーチング	麻田博之先生 (蘇生会総合病院)	E-2	—		74名	
10月21日	9:00~12:00	急性期病院における早期理学療法～循環器疾患を中心に～	高橋哲也先生 (順天堂大学)	C-3	内部	京都大学医学部人間健康科学科	176名	生涯学習部
	13:30~16:30	身体で知るからだの使い方	小田伸午先生 (関西大学)	C-2	基礎・運動器		143名	
11月3日	13:00~18:40	運動学に基づいた理学療法の理論と実際	市橋則明先生 (京都大学大学院医学系研究科)	C-2	—	京都大学医学部人間健康科学科	24名	新人教育部
11月4日	9:00~17:00		建内宏重先生 (京都大学大学院医学系研究科)					